



## 2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年10月25日

上場会社名 富士変速機株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 6295 URL <http://www.fujihensokuki.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)河嶋 謙一  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)蓮井 隆之 (TEL)058(271)6521  
 四半期報告書提出予定日 2019年10月25日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第3四半期の業績 (2019年1月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	5,801	30.9	426	183.1	442	160.2	300	164.7
2018年12月期第3四半期	4,432	△7.0	150	△33.7	169	△32.1	113	△30.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	17.74	—
2018年12月期第3四半期	6.70	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	11,587	9,874	85.2
2018年12月期	11,332	9,677	85.4

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 9,874百万円 2018年12月期 9,677百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2019年12月期	—	3.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,700	25.9	510	55.0	530	48.5	360	50.0	21.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期3Q	17,955,000株	2018年12月期	17,955,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	1,039,744株	2018年12月期	1,039,644株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期3Q	16,915,323株	2018年12月期3Q	16,915,520株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に企業収益が底堅く推移し、景気は緩やかな回復基調で推移いたしましたが、米中貿易摩擦の長期化に伴う中国経済の減速など海外経済の不確実性により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社におきましては、マーケティングに基づく当社の強みや技術を活かした製品開発と生産体制の最適化を行い、いかなる事業環境の変化にも対応すべく原価低減活動と生産性の向上に努めてまいりました。

減速機関連事業では、省力化・省人化を背景とした物流・工場自動化設備等成長分野に対し、当社の保有技術を活かした特殊製品等による新規顧客展開に注力してまいりました。

駐車場装置関連事業では、需要増加が見込まれる分野への新規開拓に取り組むとともに、既設物件に対する付加価値の高い改造改修提案を推進し、製造・施工コストの管理体制強化を進めることにより、受注獲得と収益改善に努めてまいりました。

室内外装品関連事業では、生産・品質管理体制の強化を図り、収益改善に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,801百万円(前年同期比30.9%増)、営業利益は426百万円(前年同期比183.1%増)、経常利益は442百万円(前年同期比160.2%増)、四半期純利益は300百万円(前年同期比164.7%増)となりました。

なお、セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### [減速機関連事業]

当第3四半期会計期間において、米中貿易摩擦の長期化を背景に無人搬送台車駆動用減速機の受注が低調に推移した一方で、シャッター開閉機用減速機の受注が堅調であったことにより、売上高は2,647百万円(前年同期比0.0%増)となりました。営業利益につきましては、生産性向上など継続的な原価低減活動を推進いたしましたが、設備更新・維持関連の費用もあり、134百万円(前年同期比6.9%減)となりました。

#### [駐車場装置関連事業]

大規模地下駐車場の新築工事が完工したことに加え、主力製品である「パズルタワー」が増加したことで、売上高は2,961百万円(前年同期比95.3%増)となりました。営業利益につきましては、売上高が増加したことにより307百万円(前年同期は11百万円)となりました。

#### [室内外装品関連事業]

品質管理の徹底と生産性向上に取り組み、受注獲得に努めましたが、売上高は192百万円(前年同期比28.8%減)となりました。営業損益につきましても、継続的な原価低減に取り組むものの、売上高の減少により15百万円の損失(前年同期は5百万円の損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

##### [資産]

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ255百万円増加し11,587百万円となりました。

流動資産は、未成工事支出金が210百万円、現金及び預金が80百万円、前払費用を含むその他の項目が285百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が591百万円、原材料及び貯蔵品が34百万円、製品が33百万円増加したことにより、前事業年度末に比べ100百万円増加し7,921百万円となりました。

固定資産は、資産の取得等により有形固定資産が89百万円、前払年金費用を含むその他の項目が61百万円増加したことにより、前事業年度末に比べ154百万円増加し3,665百万円となりました。

[負債]

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ58百万円増加し1,712百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が116百万円減少した一方で、引当金が51百万円、未払法人税等が33百万円、未払消費税等を含むその他の項目が52百万円増加したことにより、前事業年度末に比べ21百万円増加し1,408百万円となりました。

固定負債は、主に退職給付引当金が35百万円増加したことにより、前事業年度末に比べ36百万円増加し304百万円となりました。

[純資産]

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ197百万円増加し9,874百万円となりました。

これは、主に利益剰余金が198百万円増加したことによるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末に比べ0.2ポイント減少し85.2%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、景気は緩やかに回復していくことが期待されますが、依然として海外政治経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響など、景気を下押しするリスクが存在し、経営環境は予断を許さない状況が続くものと思われま。当社におきましては、保有技術を活かした新規顧客開拓や生産体制の最適化に注力し、いかなる事業環境の変化にも対応出来るよう努めてまいります。

これらの状況を踏まえ、2019年12月期の業績予想につきましては、現時点では2019年2月4日に公表しました予想から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,029,565	3,948,801
受取手形及び売掛金	1,660,813	2,252,031
製品	19,196	52,656
仕掛品	513,064	532,809
未成工事支出金	388,060	177,403
原材料及び貯蔵品	447,886	482,695
その他	768,675	483,517
貸倒引当金	△6,329	△7,984
流動資産合計	7,820,933	7,921,929
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,450,171	2,509,035
減価償却累計額	△1,825,350	△1,861,038
建物(純額)	624,820	647,996
機械及び装置	2,156,160	2,327,820
減価償却累計額	△1,780,925	△1,853,044
機械及び装置(純額)	375,234	474,775
土地	1,604,963	1,604,963
建設仮勘定	36,308	1,578
その他	963,971	974,255
減価償却累計額	△855,914	△864,503
その他(純額)	108,056	109,752
有形固定資産合計	2,749,383	2,839,066
無形固定資産	58,084	63,432
投資その他の資産		
投資有価証券	333,616	331,301
その他	370,074	431,387
投資その他の資産合計	703,691	762,689
固定資産合計	3,511,158	3,665,187
資産合計	11,332,091	11,587,117

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,070,652	954,045
未払法人税等	91,459	125,427
引当金	50,979	102,672
その他	174,143	226,234
流動負債合計	1,387,235	1,408,379
固定負債		
退職給付引当金	229,236	264,471
役員退職慰労引当金	21,990	27,210
その他	16,135	12,549
固定負債合計	267,361	304,231
負債合計	1,654,597	1,712,610
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,507,500	2,507,500
資本剰余金	3,896,954	3,896,954
利益剰余金	3,548,301	3,746,967
自己株式	△197,929	△197,960
株主資本合計	9,754,827	9,953,461
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△77,332	△78,955
評価・換算差額等合計	△77,332	△78,955
純資産合計	9,677,494	9,874,506
負債純資産合計	11,332,091	11,587,117

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
売上高	4,432,850	5,801,348
売上原価	3,579,452	4,677,533
売上総利益	853,398	1,123,815
販売費及び一般管理費	702,835	697,529
営業利益	150,563	426,286
営業外収益		
受取利息	354	330
受取配当金	4,920	5,274
保険配当金	4,789	6,503
保険返戻金	6,501	-
その他	8,652	9,747
営業外収益合計	25,219	21,856
営業外費用		
売上割引	4,644	4,387
その他	1,218	1,637
営業外費用合計	5,863	6,025
経常利益	169,919	442,117
特別利益		
固定資産売却益	846	-
特別利益合計	846	-
特別損失		
固定資産除却損	2,763	54
特別損失合計	2,763	54
税引前四半期純利益	168,003	442,063
法人税、住民税及び事業税	60,273	164,347
法人税等調整額	△5,674	△22,441
法人税等合計	54,598	141,905
四半期純利益	113,404	300,157

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,646,326	1,516,139	270,384	4,432,850	—	4,432,850
セグメント間の内部売上高 又は振替高	74,154	—	—	74,154	△74,154	—
計	2,720,480	1,516,139	270,384	4,507,004	△74,154	4,432,850
セグメント利益又は損失(△)	143,971	11,624	△5,033	150,563	—	150,563

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,647,214	2,961,598	192,535	5,801,348	—	5,801,348
セグメント間の内部売上高 又は振替高	86,318	—	—	86,318	△86,318	—
計	2,733,533	2,961,598	192,535	5,887,667	△86,318	5,801,348
セグメント利益又は損失(△)	134,062	307,402	△15,178	426,286	—	426,286

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。